

2022年11月9日

各位

会社名 東洋合成工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 木村 有仁
(コード番号:4970 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役 経営企画部長 渡瀬 夏生
(電話番号:03-5822-6170)

2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2022年5月11日に公表いたしました2023年3月期第2四半期累計期間の業績予想値と本日公表いたしました実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また2023年3月期通期業績予想を修正することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

2023年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値との差異(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	20,000	2,450	2,400	1,650	207.89
今回修正予想(B)	17,553	2,852	3,278	2,247	283.22
増減額(B-A)	△2,446	402	878	597	—
増減率(%)	△12.2	16.4	36.6	36.2	—
(ご参考)前第2四半期実績	15,710	2,369	2,360	1,625	204.79

2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,000	5,150	5,000	3,500	440.98
今回修正予想(B)	35,000	5,150	5,000	3,500	440.98
増減額(B-A)	△5,000	—	—	—	—
増減率(%)	△12.5	—	—	—	—
(ご参考)前期実績	33,144	4,624	4,794	3,457	435.61

差異及び修正の理由

第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高はスマートフォンやPC、フラットパネルディスプレイの需要減退の影響を受け、ディスプレイ向け感光材の販売が低調に推移し、前回発表予想を下回りました。一方、営業利益は先端半導体領域の堅調な需要が続き、経常利益は為替差益の発生などにより、前回発表予想を上回りました。

通期の業績予想につきましては、売上高は需要減退影響が引き続き見込まれることから、前回発表予想値から引き下げることにいたしました。なお、利益面はディスプレイ向け感光材の売上減少影響が見込まれるものの、先端半導体領域を中心とした高付加価値品へのシフトと需要が継続する見通しであることから、変更しておりません。

以上